

2022年 10月 子育てワンポイント

## テーマ 「子どもの肌のケア」

子どもの皮膚の厚さは、大人よりも薄く乾燥した空気に敏感で、かゆみや湿疹が生じやすくなります。乳幼児の皮膚のトラブルは増加傾向にあり、気候変動が原因と考えられるといわれています。連日猛暑が続き、あせもや日焼けのトラブル、また、ヒートアイランド現象により乾燥化が進んでいるといわれています。

近年の新型コロナウイルス感染予防の影響を受け、「マスクかぶれ」や手指の消毒で肌荒れを起こす子も増えているそうです。

### ～秋冬にかけてのかぶれやあせも～

子どもは小さいながら大人と同じ数の汗腺を持っているため非常に汗かきです。服の中が汗で湿っていることが良くあります。特に最近ではフリース素材など風を通さない冬の衣類も多く、保湿性の高い衣類を着せていると、脱いだ時汗でびしょりというケースもあります。また、寒くなると尿の量も増える為、長時間おむつを変えないと「おむつかぶれ」になる事もあるので注意が必要です。



### ～トラブルがおこりにくい肌をつくるためにはスキンケアが必要～

スキンケアの基本は「洗う・補う・守る」です。皮膚についた汗やほこり等をしっかりと洗い流し保湿を行います。スキンケアは皮膚トラブルを防ぐだけでなく、親子のスキンシップが生まれ、子どもの健やかな成長にもつながります。子どものスキンケアは親子の愛情を深めるチャンスでもあるので、大切にしていきたいと思えます。



### ～皮膚トラブルにおこる『かゆみの悪循環』～

子どもはかゆくなると、かゆいところをかき壊し、傷口が炎症を起こし赤く腫れて痛んだり、化膿の症状が見られる事があります。かゆくなる原因は乾燥やアレルギー等、様々であるため、かかりつけの専門の皮膚科を受診して、早期に医師の診断をあおぐことをおすすめいたします。

